

<b>留 学 報 告 書</b>
------------------

記入日:2019年6月16日

所属学部／研究科・学科／専攻	理工学部 応用化学科
留学先国	アメリカ
留学先高等教育機関名 (和文及び現地言語)	和文: カリフォルニア州立大学ロングビーチ校 現地言語: 英語
留学期間	2018年8月～2019年5月
留学した時の学年	3年生(渡航した時の学年)
留学先での学年	3年生(留学先大学で在籍した学年)
留学先での所属学部等	<input checked="" type="checkbox"/> 特定の学部等に所属しなかった。
帰国年月日	2019年5月26日
明治大学卒業予定年	2021年3月
<b>留学先大学について</b>	
形態	<input type="checkbox"/> 国立 <input checked="" type="checkbox"/> 公立 <input type="checkbox"/> 私立 <input type="checkbox"/> その他
学年暦	1 学期:8月下旬～12月下旬 2 学期:1月下旬～5月下旬 3 学期: (記入例/1学期:4月上旬～7月下旬, 2学期:9月中旬～2月上旬)
学生数	37,776
創立年	1949

留学費用項目	現地通貨 (ドル)	円	備考
授業料	0	0円	交換留学のため
宿舍費	10,049	1085650円	宿舍費と食費を合わせておよそ110万円
食費	-	-円	-
図書費	800	80000円	レンタルはせずにすべて購入した。
学用品費	300	30000円	一年を通してのノートや文房具など
教養娯楽費	0	0円	小説などは読む暇がなかった。
被服費	300	30000円	持っていった服以外にはあまり購入せずに済んだ。
医療費	0	0円	病院にはかからなかった。
保険費	1750	190000円	形態:現地の大学の保険と明治大学の保険の2つ
渡航旅費	1565	170000円	HIS
雑費	1000	100000円	現地での旅行代など
その他	-	-円	-
その他	-	-円	-
その他	-	-円	-
<b>合計</b>	15764	1595650(160万)円	明治大学と JASSO からの奨学金でほとんど賄えた。

## 渡航関連

渡航経路:(行き)羽田からLAX、(帰り)LAX から羽田

渡航費用

チケットの種類 FIX OPEN チケット

往路 \_\_\_\_\_

復路 \_\_\_\_\_

合計 17万

渡航に際して利用した旅行会社やガイドブックを教えてください。

HIS で往復のチケットを 6 月 11 日に購入しました。

## 滞在形態関連

1)種類(留学中の滞在先)(例:アパート、大学の宿舎など)

学生寮

2)部屋の形態

個室 OR  相部屋(同居人数 3 人)

3)住居を探した方法:

あちらの大学の Houseing website

4)感想:(滞在先の感想とこれから留学する人のためのアドバイス)

友達を作る上でも寮は重要なので、しっかり考えて選んだ方がいいと思います。

## 現地情報

1)現地で病院にかかったことはありますか? 大学内の医務室/診療所や付属病院等で医療サービスを受けることは可能でしたか?

利用する機会がなかった

利用した:

2)学内外で問題があったときには誰に相談しましたか。留学先大学に相談窓口はありましたか。

特に問題は起こりませんでした。留学生なら International student office に相談すれば良いと思います。

3)現地の危険地域情報をどのように収集し、どのような防犯対策をしましたか。また、実際に盗難等を含む犯罪に巻き込まれたことはありますか? その際どのように対処しましたか?

危険地域情報は現地でつくった友達に聞くのが1番正確だと思うので、そうしました。

実際に犯罪に巻き込まれることはありませんでした。

4)パソコン、携帯電話、インターネット(接続について)現地での利用はいかがでしたか。

(例:寮のインターネット接続が不安定で1週間に1度は全く繋がらない時がある。街にあるほとんどのカフェでは WIFI 接続が可能であったので、寮で使用できない時はカフェに行った。)

寮の WiFi は半年に一回くらいメンテナンスのためか繋がらなくなりました。普段は学校の敷地内であれば、どこでも WiFi が利用できるのが便利でした。

WiFi が利用できない時は、携帯会社と契約している 4G を使いました。ソフトバンクでは追加料金なしでアメリカ国内に限り、日本と同じ通信料で利用できるのが便利でした。

5)現地での資金調達はどうに行いましたか? (例:現地に銀行口座を開設して日本の親から送金してもらった。銀行口座は現地で外国人登録をしないと開設できない。また、クレジットカードも併用していた。)

日本で2枚クレジットカードを作り、あちらで使用していました。使ったお金は日本の口座から引かれます。その口座に JASSO から毎月奨学金が振り込まれたので、それを使っていました。

6)現地では調達できない日本から持っていきべき物があれば教えてください。

特に無いと思います。カリフォルニアで買えないものはないと思います。

ただしあちらの文房具は壊れやすいので自分のものを持って行った方がいいかなと思います。

7)【授業料負担型の方】授業料の支払方法、支払時期等について教えてください。(例:渡航前に自分で指定したクレジットカードで支払った、現地で開設した銀行のチェックで支払った、渡航前に留学先大学から指示があった、渡航後のオリエンテーションで支払いに関する案内があった等)

自分は交換留学でしたので、授業料は払いませんでした。

## 卒業後の進路について

1) 進路
<input type="checkbox"/> 就職 <input checked="" type="checkbox"/> 進学 <input type="checkbox"/> 未定 <input type="checkbox"/> その他:
2) 進路決定の際に参考にした資料、図書、機関など
大学院に行く予定です。
3) 就職を選択した方は、差し支えなければ内定先を教えてください。また、その企業を選んだ理由も教えてください。(内定を得た企業すべての名前、或は入社すると決定した企業の名前のみでも構いません) ※1～3年生で、就職活動をこれから始める場合は、差し支えなければ現時点で希望する業界、職種等を教えてください。
-
4) 就職活動中・終了に関わらず、就職活動について感想・アドバイスをお願いします。 (例: 留学中の就職活動へ向けた準備、帰国後に就職活動を始めるにあたり注意すること等。就職活動を不安に思い、留学を断念する方もいます。ご自身の経験を踏まえてアドバイスをお願いします。) ※1～3年生で、就職活動をこれから始める場合は、留学経験を通して就職活動に対する意識や希望する就職先の変化等を教えてください。
-
5) 進学を選択した方は、差し支えなければ進学先を教えてください。
希望としてはアメリカの大学院に行きたいと思います。そのためにカリフォルニアを留学先を選びました。
6) 進学を志す留学希望者に向けたアドバイス(準備、試験対策等)をお願いします。
アメリカの大学院を受ける場合、GRE や TOEFL、他には留学先の大学の教授と仲良くなって、推薦書の約束をするなどの準備を早めにしておいた方がいいです。それと現地の大学院の International student の acceptance rate というものを調べておいた方がいいそうです。
7) その他を選択した方は、留学希望者に向けたアドバイスをお願いします。
-

## 学習・研究活動についてのレポート(履修した科目ごとに記入してください)

1) 留学先で取得した単位数合計	本学で認定された単位数合計 ※該当項目にチェックのうえ、記入して下さい。
25 単位	<input type="checkbox"/> 単位 <input checked="" type="checkbox"/> 単位認定の申請はしません(理由: 特になし)
2) 以下は留学先で履修した科目についてのレポートです。今後留学をする人たちへのアドバイスも含めてお書き下さい。記入スペースが足りない場合は、A4 用紙で別途作成し、添付してください。	
履修した授業科目名(留学先大学言語):	履修した授業科目名(日本語):
Chemical Engr Thermodynamics I (CH E220)	化学工学 熱力学 1
科目設置学部・研究科	College of Engineering
履修期間	Fall 2018
単位数	3
本学での単位認定状況	- 単位認定(本学で認定された単位数を書いて下さい)
授業形態	Seminer(チュートリアル, 講義形式等)
授業時間数	1週間に 75 分が 2 回
担当教授	Wan Lee
授業内容	熱力学を工学的な視点から考えるような内容の講義でした。Lecture ではなく Seminer 形式なので生徒数は 10 人以下でした。教授が教科書をパワーポイントで解説して、たまに問題をみんなで解くというような内容でした。工学的な視点ということで実際的な問題が多かった印象でした。
試験・課題など	試験は中間・期末合わせて3回でそれぞれ 30%配点でした。宿題が 10%の配点でした。教授が試験を難しく作りすぎる傾向があったのでいくらか curve されました。(全員に点数をプラスする)
感想を自由記入	人数が少ないクラスだったので、友達もできてよかったです。ただとても難しかったので、秋学期はこの授業のせいでもかなりストレスを感じました。

履修した授業科目名(留学先大学言語):	履修した授業科目名(日本語):
Organic Chemistry I (CHEM220A)	有機化学 1
科目設置学部・研究科	College of Natural Sciences & Mathematics
履修期間	Fall 2018
単位数	3
本学での単位認定状況	-単位認定(本学で認定された単位数を書いて下さい)
授業形態	Lecture(チュートリアル, 講義形式等)
授業時間数	1週間に 75 分が 2 回
担当教授	Gary Shankweiler
授業内容	有機化学の内容を基礎から学ぶというような授業で、命名法などからやりました。ただレベルは高い内容でした。教授の作った PDF を、印刷やノートパソコンに入れて持ってきて授業を聞くという内容でした。
試験・課題など	中間・期末試験と Problem set という 10 ページ程度の宿題を2回提出、毎週1回の小テストで、それらの点で成績がつけられました。中間・期末試験は授業よりも難しかった印象でした。
感想を自由記入	映画館のような部屋と快適な椅子がある教室で驚きました。質問をする生徒が多い授業で、そこから学ぶことも多くありました。宿題や中間テストが多くあり、普段から勉強を強いられるので、期末試験の勉強は楽でした。

履修した授業科目名(留学先大学言語):	履修した授業科目名(日本語):
Organic Chemistry Laboratory I (CHEM223A)	有機化学実験 1
科目設置学部・研究科	College of Natural Sciences & Mathematics
履修期間	Fall 2018
単位数	1
本学での単位認定状況	-単位認定(本学で認定された単位数を書いて下さい)
授業形態	Lab(チュートリアル, 講義形式等)
授業時間数	1週間に 165 分が 1 回
担当教授	Josh Cosgrove
授業内容	大学院生が先生として実験を指導する授業でした。何かを合成するというよりも、一通りの基礎の技術を何度もやることで、マスターさせるという授業でした。
試験・課題など	普段の実験とそれに関するレポート、そして最後の期末試験で成績がつけられました。全体的に、普段からきちんと出席して準備しておけば大丈夫という内容でした。
感想を自由記入	アメリカに行ってから初めて、講義ではなく、あちらの学生と組んで実験をやるという授業だったので、初めのうちは緊張しました。なかなか困ったペアの子だったので随分と苦勞した記憶があります。

履修した授業科目名(留学先大学言語):	履修した授業科目名(日本語):
Fundamentals Organic Chemistry (CHEM227)	基礎有機化学
科目設置学部・研究科	College of Natural Sciences & Mathematics
履修期間	Fall 2018
単位数	3
本学での単位認定状況	-単位認定(本学で認定された単位数を書いて下さい)
授業形態	Lecture(チュートリアル, 講義形式等)
授業時間数	1週間に 75 分が 2 回
担当教授	Thach Ho
授業内容	化学的知識が少しでも必要な学生(医学、化学、物理、運動学)が取らなければいけない授業で、大人数でした。教授がパワーポイントなどで教科書を解説する授業でした。CHEM220 と違い、半年で教科書の内容を一応浅めに全て学んでおくという内容でした。単位を落とす生徒が毎年多数いるということで、毎週一回大学院生による補習授業がありました。
試験・課題など	毎週 1 回の小テスト、中間試験 2 回、期末試験 1 回で成績がつけられました。
感想を自由記入	とにかくどんどん進む授業だったので大変でした。単位が取れてよかったです。

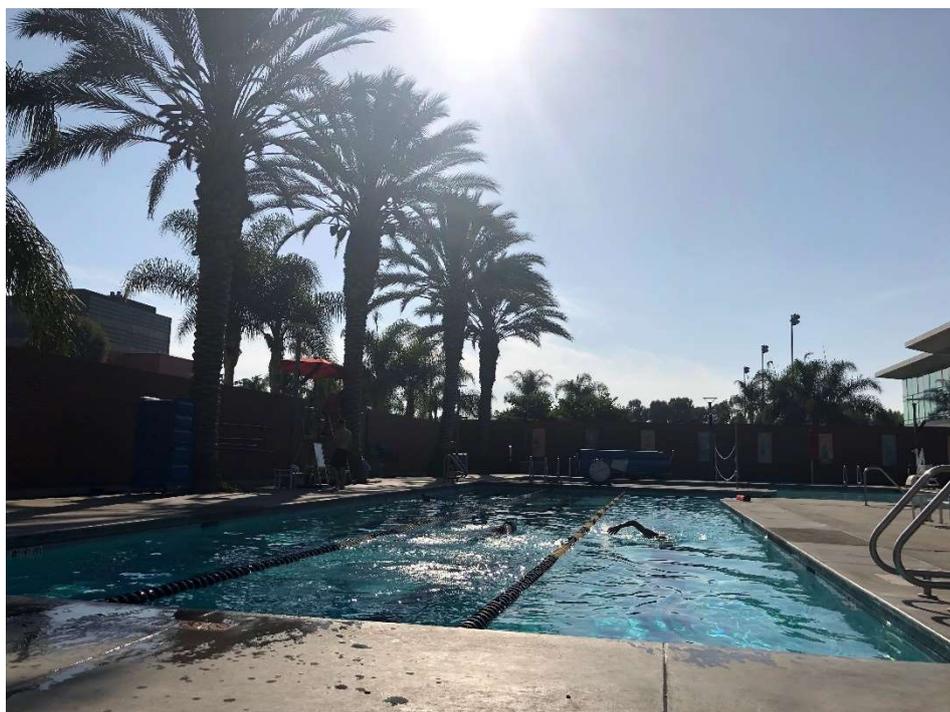
履修した授業科目名(留学先大学言語):	履修した授業科目名(日本語):
Precalculus Algebra (MATH113)	代数学
科目設置学部・研究科	College of Natural Sciences & Mathematics
履修期間	Fall 2018
単位数	3
本学での単位認定状況	-単位認定(本学で認定された単位数を書いて下さい)
授業形態	Lecture(チュートリアル, 講義形式等)
授業時間数	1週間に 75 分が 2 回
担当教授	Jose Villalobos
授業内容	高校生がやるような内容の数学でした。あちらでは大学に入ったばかりの一年生が取る授業だったようです。
試験・課題など	中間試験 2 回と期末試験1回で成績がつけられました。試験は普通の人だったら 9 割が取れるような内容でした。
感想を自由記入	一応数学用語も英語で知っていた方がいいと思い、基礎的なこの授業をとりましたが、簡単だったので大変でした。でもアメリカに行く前はそういえば $4 \times 2$ の掛けるの部分も英語で言えなかったのが、結果的にはとても役に立った授業でした。

履修した授業科目名(留学先大学言語):	履修した授業科目名(日本語):
Organic Chemistry II (CHEM220B)	有機化学 2
科目設置学部・研究科	College of Natural Sciences & Mathematics
履修期間	Spring 2019
単位数	3
本学での単位認定状況	-単位認定(本学で認定された単位数を書いて下さい)
授業形態	Lecture(チュートリアル, 講義形式等)
授業時間数	1週間に 75 分が 2 回
担当教授	Marco Lopez
授業内容	Fall semester にとつた CHEM220A の続きに当たる授業でした。パワーポイントとホワイトボードを使っての講義でした。カルボニル化合物の内容から始まり NMR や Mass までしっかりやりました。
試験・課題など	中間試験が 3 回!と期末試験1回!、それと Problem set が 4 回!、そして週2回(毎回)の小テストで成績がつけられました。期末試験は ACS(American Chemical Society, アメリカ化学会) が作るテストでとても難しかったです。Problem set はなぜか 4 人でグループを組んでやらなければいけないという制約付きで、リーダーになってしまい、全員のスケジュールを合わせるのが大変でした。
感想を自由記入	少し課題が多すぎた印象でした。期末試験にあたる ACS Exam では前期の CHEM220A と後期の CHEM220B の内容がどちらも出るということで、期末試験期間はかなり時間の勉強を強いられました。

履修した授業科目名(留学先大学言語):	履修した授業科目名(日本語):
Quantitative Analysis (CHEM251)	定量分析
科目設置学部・研究科	College of Natural Sciences & Mathematics
履修期間	Spring 2019
単位数	4
本学での単位認定状況	-単位認定(本学で認定された単位数を書いて下さい)
授業形態	Lecture & Lab(チュートリアル, 講義形式等)
授業時間数	1週間に 240 分が 2 回
担当教授	K. Slowinska & L. Macklin
授業内容	Slowinska 教授が講義を週に2回、Macklin 教授が実験クラスを週に2回行うという授業でした。講義で学んだ内容を次の日の実験で行うという内容でした。定量化学ということで様々な種類の滴定や電気化学を用いて、何かを測定するというを行いました。
試験・課題など	中間試験が2回、期末試験が1回、それと毎回の実験のレポート、そして時々ある小テストで成績がつけられました。
感想を自由記入	実験では初めて滴定をやる生徒が多くてみんなてこずっていました。終わり次第帰っていい実験だったのでその点は良かったです。

<b>履修した授業科目名(留学先大学言語):</b>		<b>履修した授業科目名(日本語):</b>	
Organic Chemistry Laboratory (CHEM320L)		有機化学実験	
<b>科目設置学部・研究科</b>	College of Natural Sciences & Mathematics		
<b>履修期間</b>	Spring 2019		
<b>単位数</b>	2		
<b>本学での単位認定状況</b>	-単位認定(本学で認定された単位数を書いて下さい)		
<b>授業形態</b>	Lab(チュートリアル, 講義形式等)		
<b>授業時間数</b>	1週間に165分が2回		
<b>担当教授</b>	Thach Ho		
<b>授業内容</b>	前期に履修した有機化学実験とは違い、複雑な操作や装置の組み立てを多く行うような実験クラスでした。前半は基礎的な操作を繰り返しやるという内容でしたが(TLC, MP..), 後半からは目的の化合物を合成するという内容がメインでした。		
<b>試験・課題など</b>	毎回のレポートと、少し配点が高めの小テスト、それと最後に教授の前で一通りの合成実験を見せる Practicum という試験の合計で成績がつけられました。		
<b>感想を自由記入</b>	Mr. Ho の授業は前期も履修していたので、随分と親しくなれて良かったです。また前期の実験の授業と違い、ペアなしで全て自分でやるということで、少し大変でした。		

<b>履修した授業科目名(留学先大学言語):</b>		<b>履修した授業科目名(日本語):</b>	
Quantum Mech. and Spectrosc (CHEM371B)		量子力学とスペクトロスコピー	
<b>科目設置学部・研究科</b>	College of Natural Sciences & Mathematics		
<b>履修期間</b>	Spring 2019		
<b>単位数</b>	3		
<b>本学での単位認定状況</b>	-単位認定(本学で認定された単位数を書いて下さい)		
<b>授業形態</b>	Lecture(チュートリアル, 講義形式等)		
<b>授業時間数</b>	1週間に75分が2回		
<b>担当教授</b>	Enrico Tapavicza		
<b>授業内容</b>	量子力学を初めに学んでから、それを UV-vis や NMR に応用して、それらの機器の仕組みを深く理解するという内容でした。		
<b>試験・課題など</b>	面接試験が1回、中間試験が2回、期末試験(ACS Exam)が1回、抜き打ちの小テストが数回と宿題で成績がつけられました。curve を全くしなかったり、全員の成績が Oh-meiji のようなサイトにアップされたりと大変な授業でした。ほとんどの生徒は単位が取れませんでした。		
<b>感想を自由記入</b>	唯一、日本にいた時に全く学んでいない内容の授業だったので、ものすごく苦しめられました。他の生徒も大変苦労している印象でした。		



### 留学に関するタイムチャート

留学するまでの準備、試験勉強、留学中、留学後、特に留学に関連して発生した事項を記入してください。例：語学試験の勉強、選考、出願、留学中の中間試験、期末試験、その他イベント等

2017年 1月～3月	TOEFL を受ける。
4月～7月	TOEFL を受ける。
8月～9月	明治大学の短期語学研修でカナダに一ヶ月行く。 TOEFL のスコアがかなり上がる。
10月～12月	協定留学に出願する。 協定校の選考に受かる。
2018年 1月～3月	現地の大学に自分で出願手続きをする。 準備(スーツケースなどの準備)をする。
4月～7月	5/24 ビザの面接のため、アメリカ大使館に行く。 準備(保険など)をする。
8月～9月	現地に向かう(8/17)。 Fall semester が始まる(8/27)。
10月～12月	期末試験 冬休み(12/24-1/21)
2019年 1月～3月	Spring semester が始まる(1/22)。
4月～7月	期末試験 帰国する。
8月～9月	
10月～12月	

## 留学体験記

留学しようとした理由	アメリカにある大学院に行きたいと思っていたので、その調査をしたいと思って留学をしようと思いました。その時に日本からインターネットで調べるよりも現地の学生に聞いた方が正確だと思い、なおさら留学をしようと思いました。
留学のためにした準備、しておけば良かったと思う準備	語学力、特にリスニング力をもう少し高めてから行くべきだったと思います。話せなくても聞き取れさえすれば、そこから今後会話で使いたいフレーズなどを学べるからです。他には、留学先が決まった時点でもっと現地の地理や観光名所を調べておいた方が良かったと思います。そうすれば友達と旅行に行く時に、友達任せではなく、自分も積極的に計画に参加できると思います。
この留学先を選んだ理由	留学しようとした理由とかぶるかと思いますが、大学院について調べるためです。特に、自分の中ではカリフォルニアにある大学院に行きたいと思っているので、その点では本当に良い留学先だったと思います。
大学・学生の雰囲気	大学・学生の雰囲気としては、びっくりするほど人種が多様だったということです。多様すぎて差別などもなかったと思います。他にはバス停で待っている時に話しかけてきてそのまま友達になったということもあったので、親切というか心が開けている人が多いという印象でした。
寮の雰囲気	寮は4つありましたが、自分の寮には大きな娛樂室(卓球台、テレビ、ピアノ、ソファなど)があり、そこでは1ヶ月に一度ほどイベントが開かれていました。また、駐車場にある芝生にはセラピードッグが時々来て、触れ合うというイベントもありました。自分の寮には日本人はいなくて少し寂しい時もありましたが、現地の友達をたくさん作れたので良かったと思います。
交友関係	最初の数週間は語学的な問題で大変でしたが、その後は特に問題なくなり友達もどんどん増えていきました。現地で作った友達とは、数え切れないほどの回数の旅行をしたりパーティーをしたりと楽しい時間を過ごしました。また長期の休み(秋、冬、春)は毎回ルームメイトの実家に泊まらせてもらったりと随分とお世話になりました。
困ったこと、大変だったこと	困ったことは、寮は全ての部屋が同じサイズなのですが、自分の部屋は3人部屋でかなり狭かったということです。さらにトイレとシャワーは5人で共用だったことも少し大変でした。他には物価が高いことも大変だったことのひとつです。ペットボトルの水でさえ、一本1.75ドル(=190円)くらいだったので、他のものも全体的に日本よりも高価な印象でした。
学習内容・勉強について	明治大学にいた時と同じく、化学を専攻していました。日本にいた時はこれでもかというほど勉強していたので、あちらではそれほど苦労しませんでした。基本的に日本もアメリカも授業のスタイルはほぼ同じでした。ただそれでもグループワークのようなものは多かったです。グループワーク有りと聞くと本当に不安になってしまうことが多かったのですが、終わってみると毎回の学生も親切で学ぶことが多かった上に、自分が思っていたほど自分の出来は悪くなかったかなと思いました。

課題・試験について	理系の授業に関しては、宿題はあまり出されませんでした。しかしその代わりに自分でやらないと、本当に大変なことになるという感じでした。言われなくても自分でやるというのが常識のようで、どの学生もきちんと予習復習を行っていました。また、中間試験はどの授業も2、3回あったので普段から勉強をしなければいけなく、かえって期末試験前は勉強をしなくても準備 ok という感じでした。
大学外の活動について	出発前は大学外活動を何かしようと考えていましたが、現地に行って現地の友達が多くできると、彼らと過ごした方がいいなということで、そのような活動は特にしませんでした。
留学を志す人へ	とにかく事前準備を心がけた方がいいと思います。事前準備といっても1、2ヶ月の話ではなく、半年、1年のレベルでの事前準備です。他には主観的に自分はできる人だというよりも、何か客観的な結果を持って自分をアピールできるように早くから実績作りをしておいた方がいいと思います。留学のチャンスを手に入れて現地に行ったら、緊張せずにどこにでも顔を出すということを心掛けて入れば、友達もできますし色々とうまくいかと思います。

## 一週間のスケジュール(例)

	月曜日	火曜日	水曜日	木曜日	金曜日	土曜日	日曜日
午前中	授業	授業	授業	授業	図書館	ハイキング など遠出	部屋でゆつくり
	授業	授業	授業	授業	図書館	ハイキング など遠出	部屋でゆつくり
午後	授業	授業	授業	授業	パーティー	ハイキング など遠出	出掛け
	授業	授業	授業	授業	パーティー	ハイキング など遠出	出掛け
夕刻	図書館で勉強	図書館で勉強	図書館で勉強	ジム	パーティー	パーティー	図書館
夜	ルームメイト と映画	ジム	ルームメイト と料理	パーティー	パーティー	パーティー	ジム

